

2月は平和と紛争予防／紛争解決月間

RI 第2820地区

# 水海道ロータリークラブ



インスピレーションになるう



2018-2019 年度 RI 会長 バリー・ラシン

例会予定 3月 6日  
3月13日

VOL.56 No. 27 (通算No. 2585)

2019年 2月27日(水) 例会プログラム

点 鐘

ロータリーソング

ビジター紹介

出席報告

SAA報告

諸報告

幹事報告

会長挨拶

外部卓話 常総警察署長 村上貴志様



写真提供者:青木正弘会員

2018-2019年度 会長 染谷秀雄 幹事 古矢 満

創立 1963年9月25日

《例会場・例会日》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790

常陽銀行水海道支店内 3階

毎週 水曜日 12:30~13:30 ☎0297-22-1251

《事務所》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386

釜久ビル 3階

TEL 0297-30-0875

Fax 0297-30-0876

Email [mitsu-rc@lapis.plala.or.jp](mailto:mitsu-rc@lapis.plala.or.jp)

URL <http://www.mitsukaido~rc.jp/>

## 2月は平和と紛争予防／紛争解決月間

例会報告 VOL.56 No. 26 (No.2584) 2月20日(水) 晴れ (司会 鈴木勝久委員長)

本例会での主な事項

◎会長挨拶

◎外部卓話

常陽産業研究所

チーフエコノミスト 尾家啓之様

### ピジター

米山奨学生 バルガス メサ・シャナットさん

こんにちは。身体には気を付けてください。論文は提出したので卒業できと思いますが、就職はまだ決まっていません。

皆さんのお陰でよい経験ができています。ありがとうございます。

常陽産業研究所 チーフエコノミスト 尾家啓之様

YFC 小絹コーチ 成島勇一様

昨年の谷和原カップにご支援いただきましてありがとうございました。鈴木茂徳さんが立ち上げたものを引き継いでいます。今後ご支援を頂きながら主催していきたいと思います。宜しくお願い致します。



### 諸報告

青少年奉仕委員会 石井康弘委員長

10月6日に谷和原カップに青少年委員会として初めて協賛しました。次年度も続けて協賛したいと思います。

幹事報告 古矢 満幹事

週報受理クラブ なし

例会変更通知 なし

### 理事・役員会報告

1. 4月の例会予定

4月3日(水) 地区大会の振替

2. 次年度地区委員推薦について

北村英明会員・・・会員増強委員

石井康弘会員・・・世界社会奉仕 グローバル補助金担当

鈴木勝久会員・・・米山奨学生選考委員

.....承認されました.....

会長挨拶 染谷秀雄会長



本日は、常陽産業研究所チーフエコノミストの尾家様、お忙しい中お越しくさ  
いましてありがとうございます。後ほど、卓話よろしくお願ひします。

また、米山奨学生のシャナットさん、そして、少年サッカー大会、谷和原カップ運  
営スタッフの成島様ようこそお出でくださいました。会員一同歓迎申し上げます。  
今日はお客様も多く、時間もありませんので簡単にご挨拶申し上げます。

先日行われましたインフォーマルミーティング、多くの会員の方々に出席して  
いただきました。大変天気もよく、お出かけ日よりでしたが、1日お付き合いただきありがとうございました。特  
に、登壇していただき、ロータリーの魅力やロータリーに対する持論など発表していただきました、瀬戸会

## 2月は平和と紛争予防／紛争解決月間

長エレクト、そして、会長ノミニーの北村会員、大変お疲れ様でした。各クラブの代表の方々の発表を聞かせていただきましたが、それぞれのクラブ、会員増強ではご苦労されているようにも思えました。また、高橋ガバナーの挨拶の中にもありましたが、地区内の会員数は1965名で、高橋年度のスタート時には1945名でしたから20名しか会員増強が出来ていないと、これから、更に会員増強に力を入れていかなければならないと訴えていました。水海道クラブにおきましても、現在2名の増強ではありますが、残された期間内に何人か推薦できるよう努力したいと思っておりますので皆さんもご協力ください。

最後になりますが、故飯塚三夫会員のお嬢様、千春様よりクラブ事務所にメールが入り、現在、オーストラリアへの旅行を計画しており、3月11日にツウンバRCの例会に参加するそうです。現在、ツウンバロータリークラブから交換学生の派遣について返事はありませんが、メッセージがあればということなので、この件を含めたメッセージを作り、水海道クラブのメッセージ飯塚さんに託したいと思っております。

### 外部卓話 「最近の金融経済情勢」 常陽産業研究所 チーフエコノミスト 尾家啓之様



本日は国家統計に関する問題と本年のわが国の経済展望についてお話させていただきたいと思っております。

国家が行う統計調査はあまたありますが、統計法により、重要な56の統計を基幹統計と位置付け、厚生労働省が所管する毎月勤労統計調査はこれに含まれております。この調査を実施する厚生労働大臣は総務大臣に実施計画を申請し、これを総務大臣が承認することになっております。そして、そのやり方を変更するとき

も、総務大臣にその旨申請し、承認を得ることになっております。今回厚生労働省で発覚した問題は、従業員500人以上の大企業については全数調査をする旨申請し、総務大臣の承認を得ていましたが、東京都に関しては2004年から全体の約3分の1しか調査していませんでした。しかも、その3分の1のサンプルを全数に還元するような統計上の作業(補正)を長い間していませんでした。統計的な有意性を保てるようにきちんと補正を行うのであればサンプル調査で全く構わないのですが、統計法上求められている総務大臣の承認なしに、それもきちんと還元作業をせずに行ったという点が今回の事案で最大の問題であります。この問題はいくつもの初歩的なミスが積み重なって起きたと考えられますが、単に厚生労働省の統計作成部署あるいはその責任者を叱責して済む話とは思えません。もっと根源的なところで、突き詰めて言えば、わが国政府のみならずいかなる組織においても同根の問題があるのではないかと考えてならないからです。まず、今回の事案の背景には、統計は正しい行政・政策を行う上での羅針盤であると同時に国民共有の財産である、という認識が不足していたのではないかと。2000年代に入り予算とか人員が削減される中、統計自体は減らないどころかむしろより一層複雑になっている。こうした中で、本来ならば統計の専門家としてプロ意識をもって、統計の精度を下げずに作業の効率化を図るなどをしてこなければならなかったところ、それがなされなかった。

正しい統計は正しい政策、そして国民の意思決定に不可欠なものとの認識を改めて想起し、統計作成部署のモラルを一段と高めるような組織運営をしてほしいと思っております。そして、そのようなコツコツと地味な作業をする部署の成果にも十分なリスペクトが必要であることは言うまでもありません。そして、これはいかなる組織運営においても妥当するのではないかと。最近相次いで発覚した民間企業の各種検査の偽装や、建築基準法違反の問題などをみるにつけ、①当初定められた手順に基づいて仕事がなされているか、②そうでなかった場合、きちんと修正の手続きが取られてるか、③世の中の人が、気が付かなければそのまま続けるといったことがないか、④安さ、速さを口実にそのようなやり方がまかり通っていないか、企業組織運営も含めて、改めてわが国の組織運営を考え直すきっかけにしたいものです。

さて、ここからは経済の話です。昨年この時期には、世界同時回復と言って、先進国も、新興国も共に景気拡大局面に入ったと多くのエコノミストが自信を深めていました。ところが、昨年半ば頃まではそれ

## 2月は平和と紛争予防／紛争解決月間

でよかったのですが、後半に入り少々潮目が変わってきました。最大の要因は、米中通商問題が両国経済を減速に陥るのではないか、その結果世界経済も減速するのではないかという不安が一気に拡大したことです。米国経済は、取り敢えず好況のもとで大幅減税を実施するなど、今のところ堅調に推移していますが、さすがに景気回復局面が10年に及んでいること、減税効果が減衰することなどから先行き減速の懸念が強まっています。中国経済は、年初に7%近かった成長率が6%台前半まで落ちてきています。工作機械、建設機械をはじめ、スマホなど製造業の生産が成長率の数字以上に急減速しているとの情報もあり、要注意です。この間、欧州経済はいいところがなく、減速が明確になりつつあります。ただ、経済以上に問題なのが、欧州の政治です。

さて、そうした中、わが国の経済であります。この1月に「戦後最長の景気回復期間に達したとみられる」と政府から発表がありました。今次景気回復局面は、ちょうど第二次安倍政権発足の2012年12月から始まりましたので1月で74か月ということになります。なかなか実感に乏しいという声も耳にします。確かに、過去の景気回復局面と比べて実質成長率が低いとか、社会保険料支払い増を勘案すると実質的な可処分所得は減少しているとか言われていますが、何といても賃金が目に見えて上がってこないことが最大の理由でしょう(だからこそ正確な賃金統計が大事なのです!)。万全の財政金融政策でサポートしていますので、近い将来、景気後退は想定されていません。暫くは今の景気回復局面が続くと予想されるものの、世界経済の減速を受けて、わが国経済も穏やかに景気減速局面に転ずるとみておいたほうが良いと思います。ではいつまで回復局面が続くか。私は、今年ないし今年度前半まではこれまでの回復局面が続くと考えておいていいと思っています。それまでは、東京五輪需要が見込めますし、改元によるポジティブな影響も期待できると思います。また、G20もプラスです。ただ、その後は、東京五輪需要が一巡し、(万全の対策を打っているとは言え)10月には消費税率が8%から10%に引きあがりますので、巡航速度(潜在成長率)とされる0%台後半程度まで落ちていくのではないかと思います。ただ、東京五輪が開催される来年度後半以降について景気後退に陥る可能性を含めて要注意だと思っています。

### 出席報告 雨谷道夫委員長

会員総数	出席者数	欠席者数	出席免除	メーク	出席率
53名	37名	14名	2名	14名	100.00%

**ニコニコボックス** 前島 聡委員長 入金額 23,000円 累計 1,554,000円

IMに参加して頂きありがとうございました。 染谷(秀)会員

先日のIMご参加ありがとうございました。 古矢会員

瀬戸会員、北村英明会員、先日のIMでの発表御苦勞様でした。 鈴木(邦)会員

先日のIM大変お疲れ様でした。お世話になりました。 五木田(裕)会員

IMご苦勞様でした。 熊谷会員

IMお疲れ様でした。 北村(英)・石塚(克)・瀬戸・石塚(利)・前島 各会員

IM北村英明さん、瀬戸隆海さん、発表お疲れ様でした。尾家様卓話宜しくお願ひします。青木(英)会員

IMお疲れ様でした。尾家様卓話宜しくお願ひします。 齋藤(広)会員

IMお疲れ様でした。また本日成島コーチお越しいただきましてありがとうございます。

石井・齋藤(政) 各会員

早退します。 青木(清)会員

IM欠席しました。 宮代・山中・淀名和 各会員

**会報委員会 石塚利明委員長 内村尚史副委員長 軽部良一委員**